

令和7年度
第32回
備後東城

お通り

11月2日（日）

正午：東城小学校グラウンドスタート

※予定時刻は変更となる場合がございます。

『お通り』

『お通り』とは、慶長6年（1601）、広島藩主福島正則の家老として、東城五品嶽（ごほんがだけ）城主となった長尾隼人正一勝が、関ヶ原の戦勝を祝して、祭礼御輿行列に武者行列を加えたのがはじまりとされています。福島氏改易後、広島藩は浅野家となり、東城にも東城浅野家が家老として着任し、明治まで続きました。浅野家の時代に秋祭は、十一月一日の川西八幡宮から五日の世直神社まで五日間に亘って催され「五日催し」と呼ばれました。特に享保四年（1719）、東城浅野家の祈願により、川西八幡宮・天神社の神輿が東城に神幸することとなり、御旅所まで渡御、世直神社の祭典終了後、両神輿が行列を組み、町内の街筋を巡幸し、夕刻までに八幡宮に還御する最終日の神輿渡御行列を、特に『お通り』と呼ぶようになりました。平成5年より、お通り保存振興会によるイベントとしてのお通りが、大名行列、武者行列、母衣（ほろ）・華童子（はなわらべ）からなる行列を組み、勇壮・華やかな時代絵巻として毎年十一月初旬にとり行われています。



交通のご案内

■お車

- ・大阪方面より中国自動車道で約 3 時間
- ・広島方面より中国自動車道で約 1 時間 30 分
- ・岡山方面より山陽自動車道で約 2 時間
- ・福山東 IC より、国道 182 号線にて約 1 時間

■ JR・高速バス

- ・JR 芸備線東城駅下車
- ・広島バスセンターより高速バスで東城駅下車